

1 子どもが主体的に学ぶ授業づくりをするために

子どもが課題を自分の力で解決していく力を付けるために、授業はどう変わっていけばよいのでしょうか。学習指導要領の理念である「生きる力」を育むためには、身に付けさせた力を理解するとともに日々の授業づくりを見つめ直し、授業改善に取り組んでいくことが大切です。

学力の重要な3要素

基礎的・基本的な知識
及び技能の習得

知識・技能を活用して課題を解決する
ために必要な思考力・判断力・表現力

主体的に学習に取り
組む態度

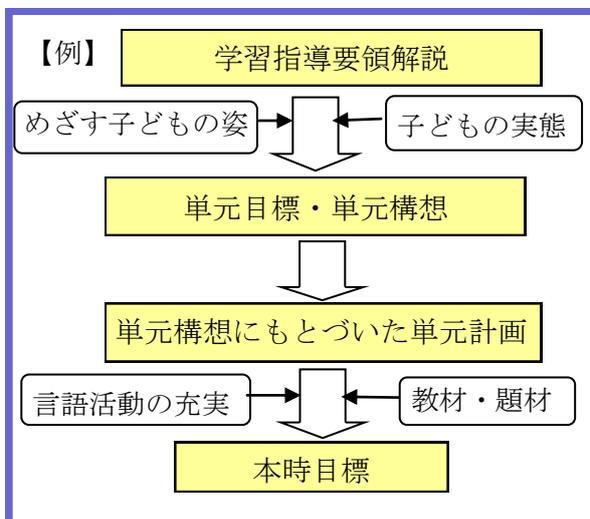
そのためには、子どもが主体的に学ぶための授業づくりをすることが、大切です。

- ◆子どもたちの思考の流れを意識した単元構想
- ◆単元を通して付けたい力を明確にした単元計画
- ◆1時間の授業でめざす子どもの姿の明確化



(1) 単元構想をもとにした単元計画

単元を構想するときには、教科のねらいをもとに単元を通してどんな力を付けたいのかを明確にします。そのときに、子どもの思考の流れや他教科との関連も含めて、単元全体を見通し、多面的に構想することが大切です。学年団やチームで話し合うのも一つの方法です。



ポイント

- ◆単元を通して付けたい力を明確化。
- ◆子どもの思考の流れを意識することでめざす子どもの姿を設定。
- ◆ねらいを達成するための言語活動を具体的に設定。
- ◆めざす子どもの姿を実現するためにぴったりの教材・題材を工夫。



① 総合的な学習の時間の例

単元構想

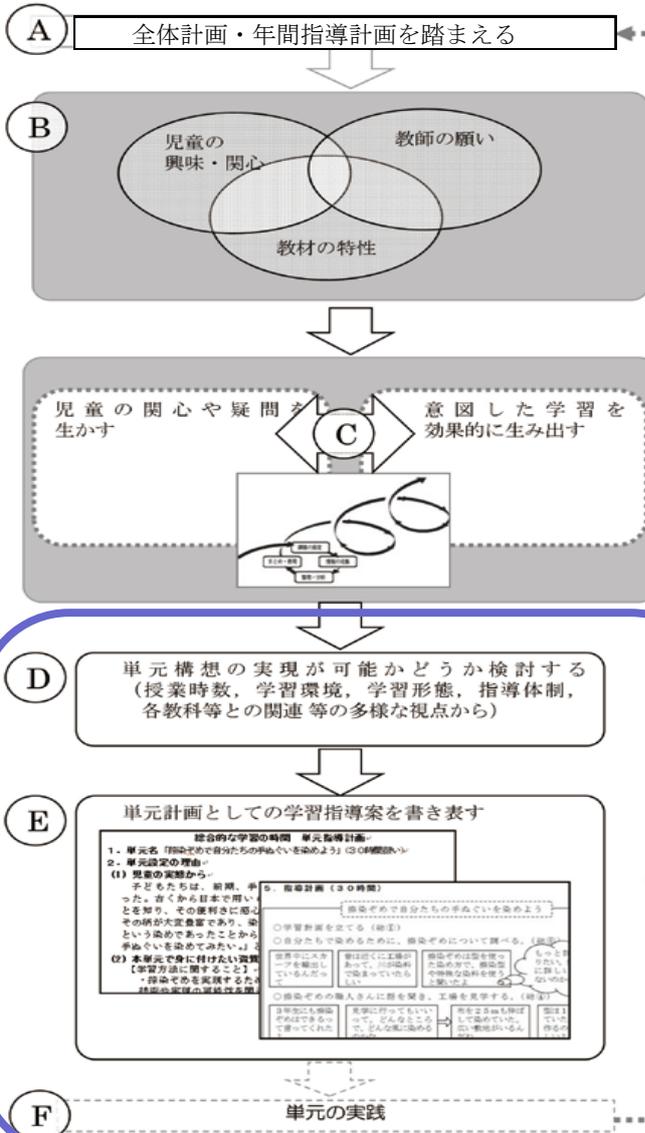
単元を構想する

3つの視点から
中心となる活動を思い描く

探究的な学習として単元が
展開するイメージを思い描く

単元計画を具体的に書き表す

単元の構想で描いたイメージを
様々な条件を考慮し具体化する



単元計画作成のチャート

ポイント

- ◆各教科でも総合的な学習の時間の単元づくりをイメージする。
- ◆子どもの思考の流れと学習活動を書く。
 - ※1
- ◆育てたい力を具体的な子どもの姿で書く。
 - ※2
- ◆各教科・領域との関連を入れる。
 - ※3

G 指導計画の評価と改善

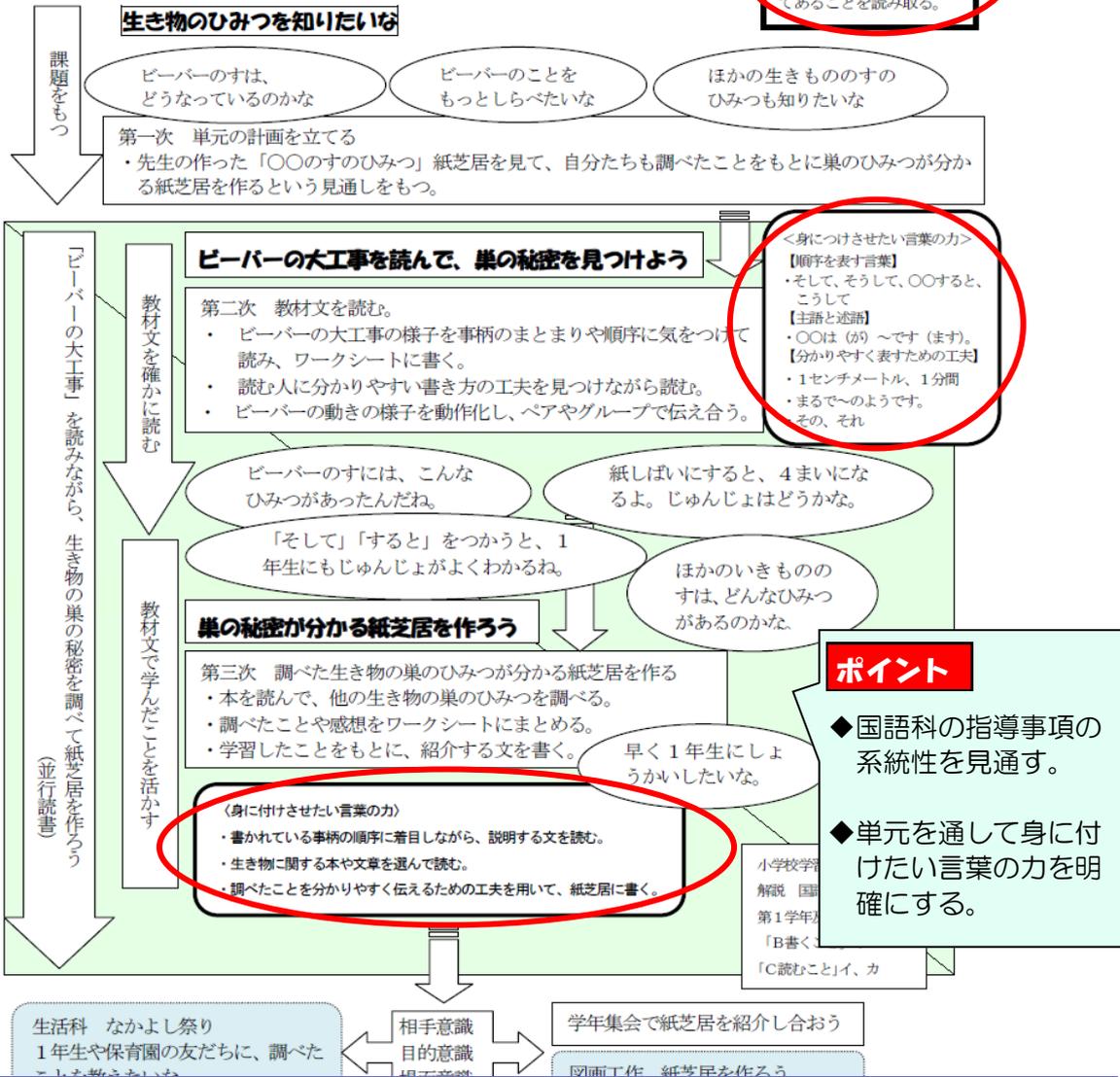
単元計画 大切にしよう！みんなの地球（総時数 70 時間）				単元計画			
※1 予想される子どもの思考の流れ	主な学習活動（時数）	形態	教師の支援	※2 育てたい力（評価規準）			※3 各教科・領域との関連 ○…学習内容 ☆…資質・能力
				学ぶ力	かかわる力	高める力	
地域を探検してみよう。 ↓ 学校の近くに川があったぞ。くまごみがあったぞ！魚がいたぞ！ ↓ 秋田運河はきれいな？調べてみよう。 ↓ 秋田運河がきれいなのか分かったぞ！ ↓ 発表会をしたいな。 ↓ 秋田運河の問題が分かったぞ！ 秋田運河の環境	地域探検に行こう（2） 学年テーマや自分の課題を決めよう（8） 秋田運河について調べよう（10） 調べたことをまとめよう（8） 秋田運河の環境について話合おう（1） 考えよう（4）	全 個 全 個 全 個	・子どもたちの関心や環境に気づくよう、地域探検では環境にも気づくよう、学習の意図を重点的に上げる。 ・学習の見通しを子どもと話し合う。 ・一人一人の課題に沿って、グループ活動を取り入れ、ITの支援を行う。 ・自分の生活と結びつけて考えるように、秋田運河について話し	・地域探検を通して気づいたことや疑問、考えたことをまとめることができる。 ・自分の課題に合わせた情報や資料を調べ、まとめることができる。	・秋田運河に對する調べよう。	○（社会）のみ水をつくるごみはどこへ ○校外学習 ☆（国語）伝えたいことをはっきりさせて書く ☆（算数）折れ線グラフをよんだり書いたりする ☆（算数）表にまとめたりをよんだりする ☆（理科）研究の仕方やまとめ方が分かる ☆（国語）調べて分かった	

【出典】「今、求められる力を高めるための総合的な学習の時間の展開」文部科学省

② 国語科の例

2年 国語科 すのひみつがわかる紙しばいを作ろう「ビーバーの大工事」
単元構想図

2年7月
「たんぽぽ」
・順序に気をつけて、書いてあることを読み取る。

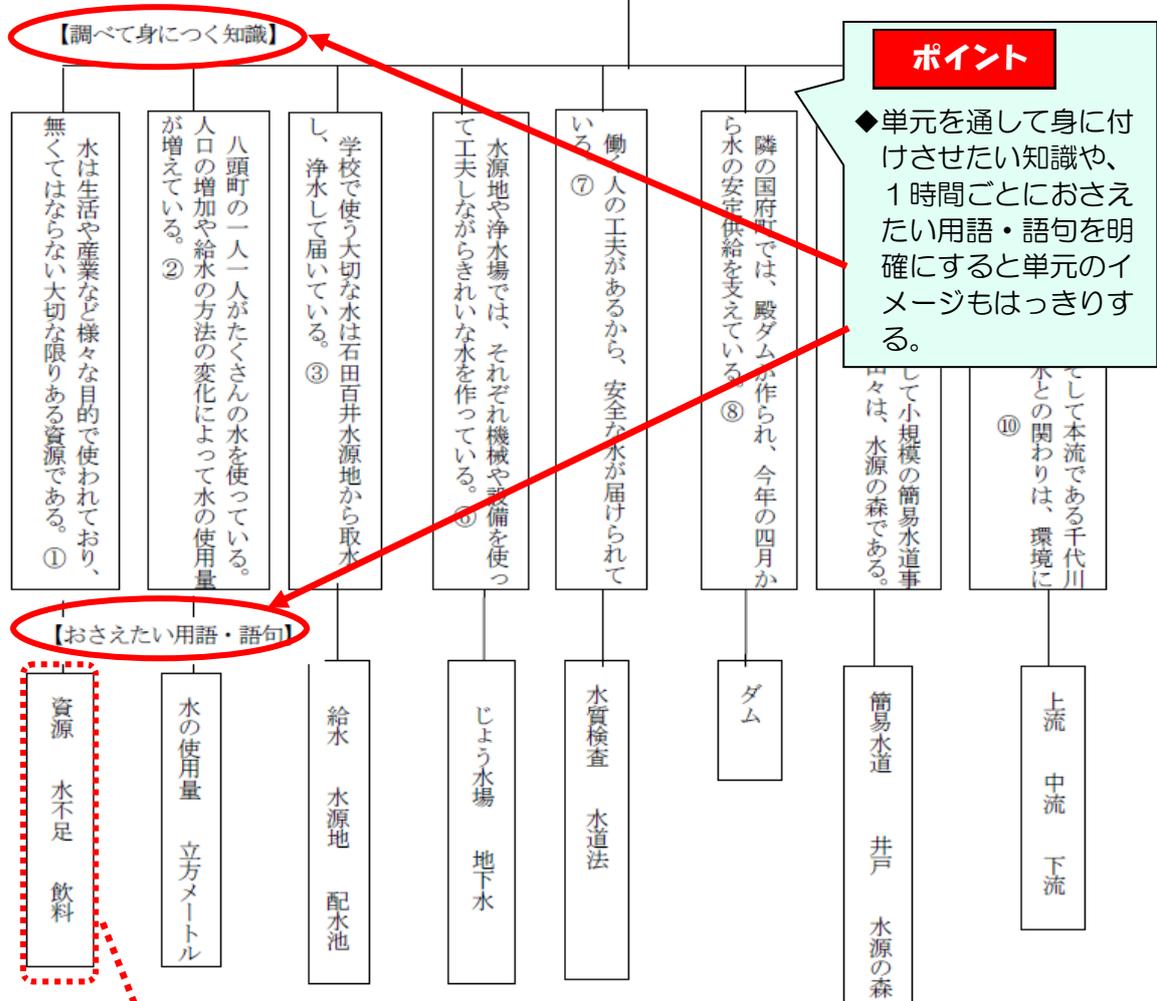


指導と評価の計画 (全10時間)			単元計画
時	主な学習活動	評価規準 (評価方法)	
いきもののひみつを知りたいな			
第一次	1 先生の作った「ビーバーのすのひみつ」紙芝居を見て、自分たちも調べたことをもとに巣の秘密がわかる紙芝居を作るという見通しをもつ。	関①ビーバーやビーバーの巣について関心を持ち、紙芝居づくりへの意欲をもっている。(発言、ノート)	
ビーバーの大工事を読んで、巣の秘密を見つけよう			
第二次 並行読書	1 紙芝居の枚数や順序と教材文を比べながら読む。	読①絵や写真と結びつけながら、話の順序や大体をとらえている。(発言、ワークシート)	
	2 読む人に分かりやすい書き方の工夫を見つけながら読む。	読②ダム作りの工程や大きさについて、順序に気をつけながら読んでいます。(発言、ノート)	
	3 読んだことから、ビーバーの様子や動きを動作化し、ペアやグループで伝え合ったり、分からないところを聞き合ったりする。	読②写真と言葉や文章を結びつけながら、ビーバーの体の特長や材料を運んでいく様子を読んでいる。(発言、ワークシート) 読②ビーバーが巣を作る様子や安全に生きる知恵を読んでいる。(発言、ワークシート)	
	4 ビーバーの大工事を「ビーバーのすのひみつ」紙芝居にまとめる。	読①絵や写真と結びつけながら、話の順序や大体をとらえている。(発言、紙芝居)	

③ 社会科の例

単元構想

地球規模から考えても、水は限りある貴重な資源である。今後、地域の水を使い続けるためにも、一人一人ができることを考えて実行したり協力したりすることが大切である。⑩



6 指導計画 (12時間)

単元計画

学習過程	時数	おもな学習活動および評価内容	資料 調査・体験	言語活動
つかむ	1	<p>くらしの中の水の発見</p> <p>水とわたしたちの生活とのつながりについて考えよう。</p> <p>○日常生活や地域を見つめ、水と自分や地域との深いつながりについて話し合う。</p> <p>・食事や入浴、プール、田畑など様々な目的で多くの水を使っている。水は大切な資源だ。</p> <p>水は、限りある資源であり、生きるために絶対に必要な。</p> <p>ア-① ノート 発言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの写真 ・水田の写真 ・水不足の記事 	<ul style="list-style-type: none"> ・水を使う生活場面を個条書きで書く。 ・水が大切な資源だという理由を考えて書き、話し合う。
	2	<p>水の使用量</p> <p>八頭町では一人が1日にどれくらいの水を使って生活しているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八頭町の一人が1日に使う水の使用量。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が1日に使う水量を牛乳パックの数に換算